

(15) 川平湾

1) 第1回調査(平成26年11月6日実施)

(a) 降雨状況

調査日前20日間の降雨状況を図4.4-72に示した。調査日には降雨は確認されなかったことから、平常時の陸域調査として実施した。

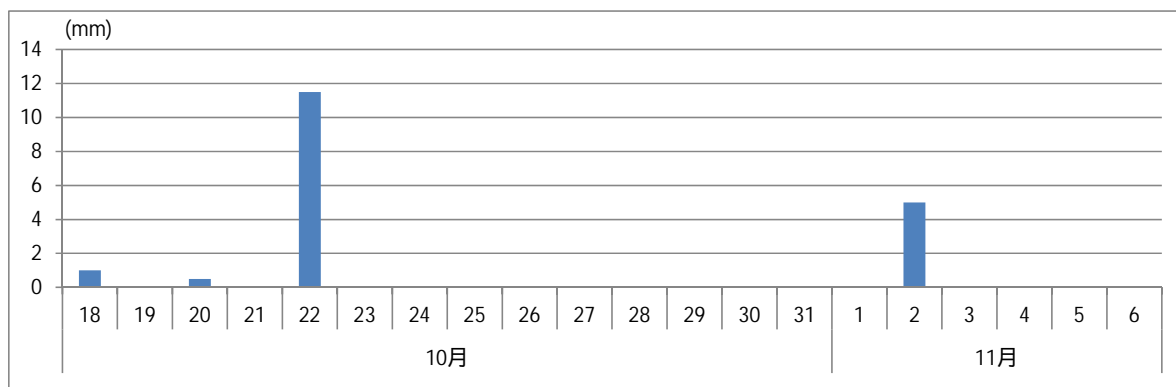


図 4.4-72 調査日前20日間の降雨状況(川平観測所)

(b) 流域内状況

陸域調査時の各種位置図を図 4.4-73 に示した。

また、次ページ以降、図内の地点位置の内容について、写真と共に詳細を述べた。

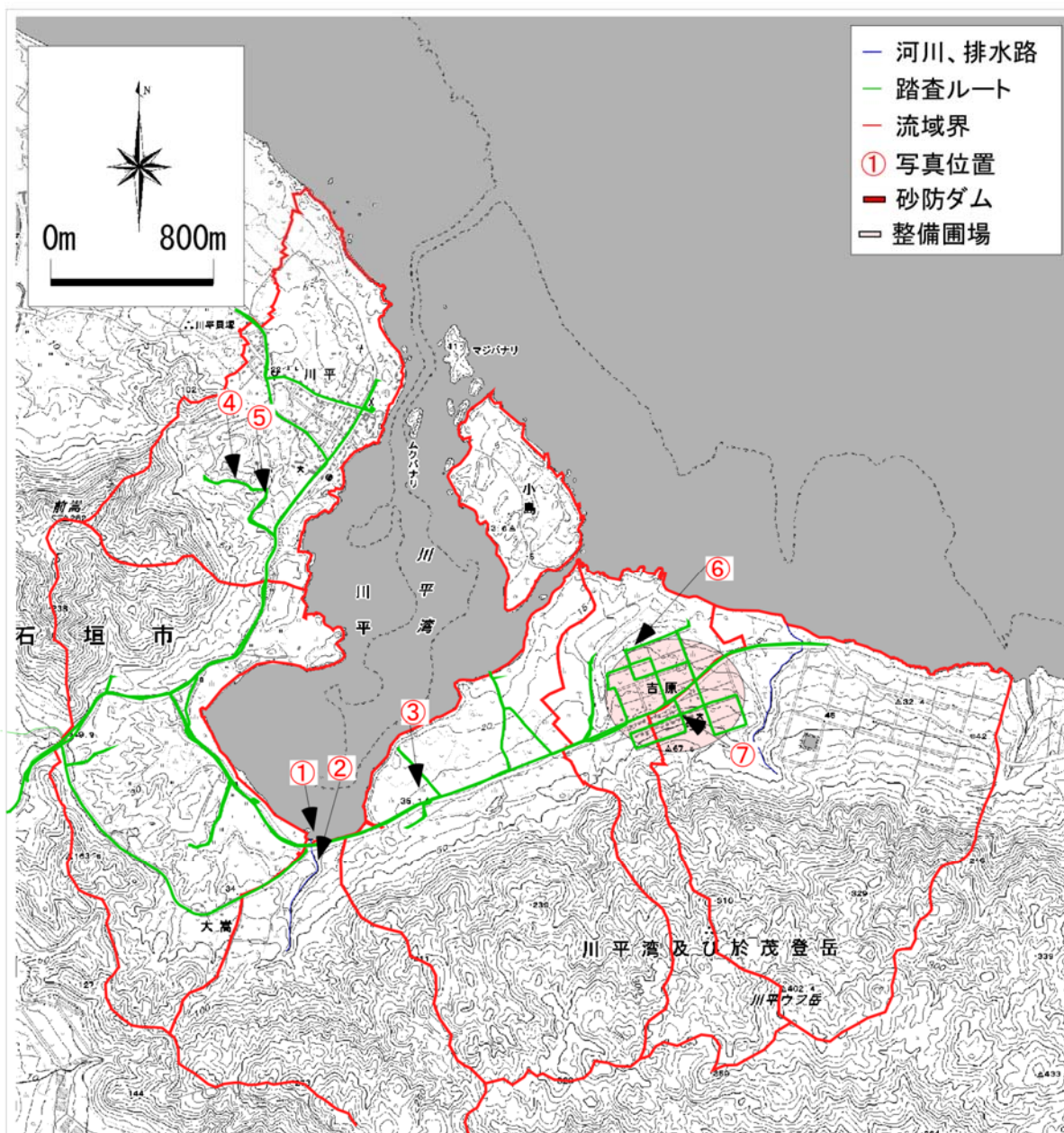


図 4.4-73 川平湾 陸域調査概要(1回目)

- ・ 河口域において濁りは確認されなかった(地点)。



地点 河口域(濁り無し)



地点 河口域(濁り無し)

- ・ 大規模な農地用造成裸地が確認され、面積は 100m × 20m 程度であったが、赤土等流出防止条例にかかる看板は確認されなかった(地点)。



地点 新規確認造成裸地



地点 新規確認造成裸地

- ・ 昨年度確認されたパイン畑(面積約 200m × 80m)では、昨年度同様末端に畦畔があり流出防止対策が取られていた(地点)。



地点 末端に畦畔があるパイン畑



地点 昨年度第 2 回時(2 月)の状況

- また、畦畔がある箇所についても、その先の斜面に裸地部分があるため、大雨時には土砂が流出する可能性が高い箇所も確認された。



地点 畦畔先の斜面状況

- 流域外になるが、東側の吉原集落においては、圃場整備が行なわれており、畑の幾つかの地点においては、流出源となりうる箇所や道路へ流出痕が確認された(地点)。



地点 流出可能性が高い箇所



地点 道路への流出痕

2) 第2回調査(平成27年2月24日実施)

(a) 降雨状況

調査日前20日間の降雨状況を図4.4-74に示した。調査日当日には9.5mmの雨が降ったことから、降雨時の調査として実施した。また、調査当日の毎時雨量を図4.4-75に示した。

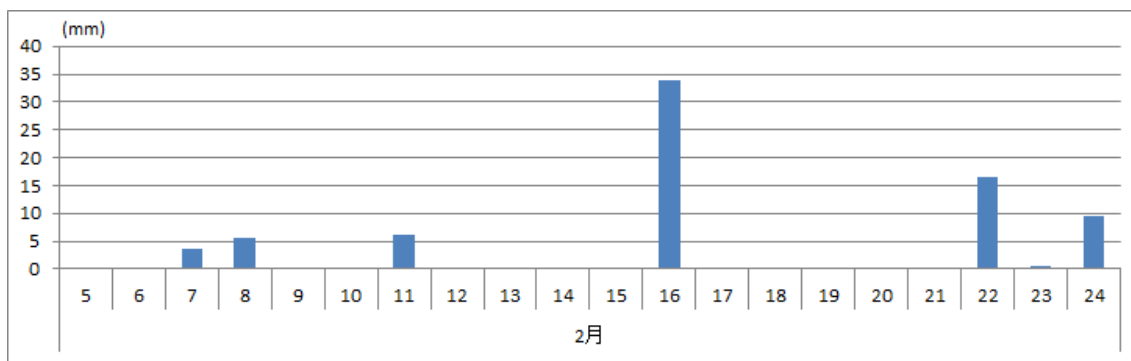


図 4.4-74 調査日前20日間の降雨状況(川平観測所)

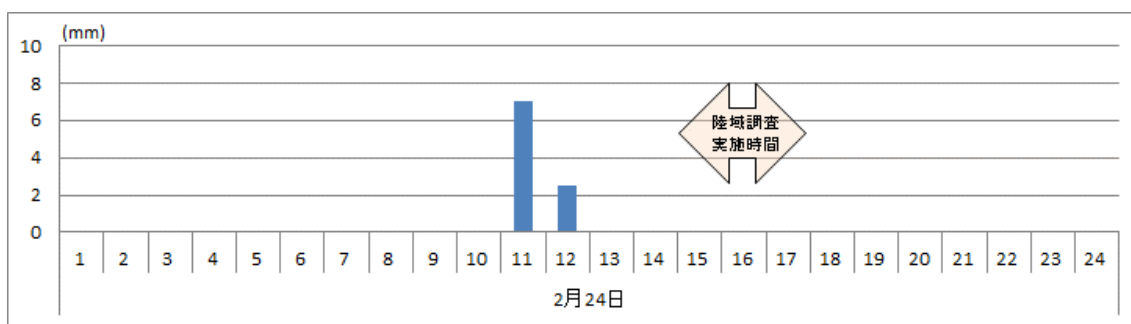


図 4.4-75 調査日当日の降雨状況(川平観測所)

(b) 流域内状況

陸域調査時の各種位置図を図 4.4-76 に示した。

また、次ページ以降、図内の地点位置の内容について、写真と共に詳細を述べた。

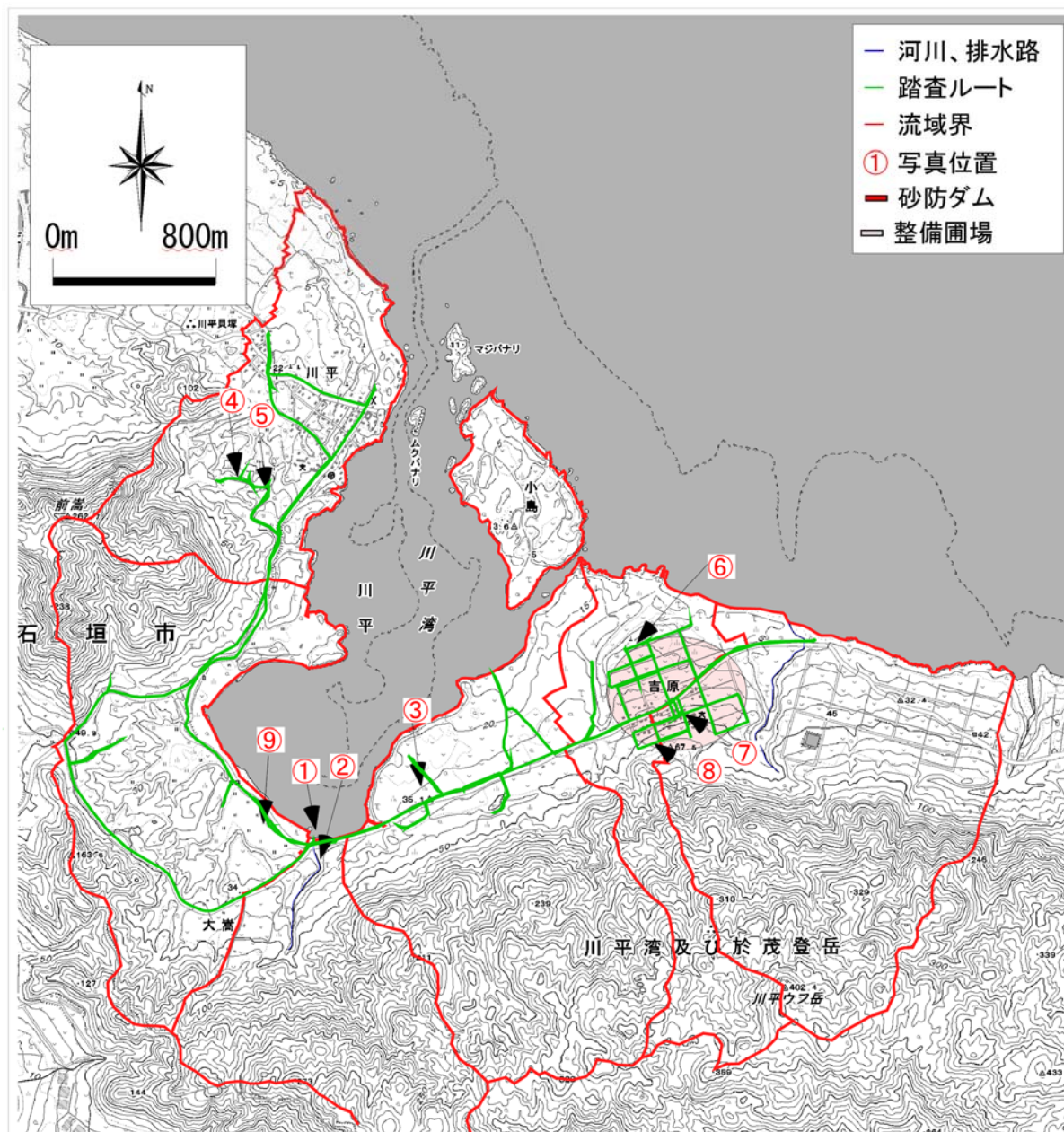


図 4.4-76 川平湾陸域調査概要(2回目)

- ・ 河口域において濁りは確認されなかった(地点)。10mm 程度の降雨では、赤土の流出は少ないことが予想される。。



地点 河口域(濁り無し)



地点 河口域(濁り無し)

- ・ 大規模な農地用造成裸地は、草本が茂っており赤土流出の可能性が減少した(地点)。



地点 草本が茂る造成地(第1回目地点)



地点 サトウキビ畑(第1回目地点)

- ・ 昨年度確認されたパイン畑(面積約 200m × 80m)では、昨年度や H26 年度第 1 回調査時同様末端に畦畔があり流出防止対策が確認された (地点)。



地点 末端に畦畔があるパイン畑(第1回目地点)

- ・しかし、H26 年度第 1 回調査時に赤土流出の可能性が高いとされた、畦畔先の斜面の裸地には大きな改善は確認できず、依然として赤土流出が懸念される。



地点 畦畔先の斜面状況(第 1 回目地点)

- ・東側の吉原集落の赤土流出が懸念された箇所では、大きな改善を確認できず、依然として赤土流出の可能性が高いと考えられる(地点)。



地点 流出可能性が高い箇所(第 1 回目地点)



地点 道路への流出痕(第 1 回目地点)

- ・地点 においては、20m × 30m 程度の新規造成地が確認された。末端がブロックで囲われていた状況から赤土流出の可能性は低いと考えられる。



地点 新規造成地

- ・ 地点 においては、水田が確認された。去年度には多くの水田において赤土の流出が確認されたが、本調査時には雨が降っていなかったこともあり、赤土流出は確認されなかった。



地点 赤土流出が確認されなかった水田

(16) 崎枝湾

1) 第 1 回調査(平成 26 年 11 月 6 日実施)

(a) 降雨状況

調査日前 20 日間の降雨状況を図 4.4-77 に示した。調査日には降雨は確認されなかったことから、平常時の陸域調査として実施した。

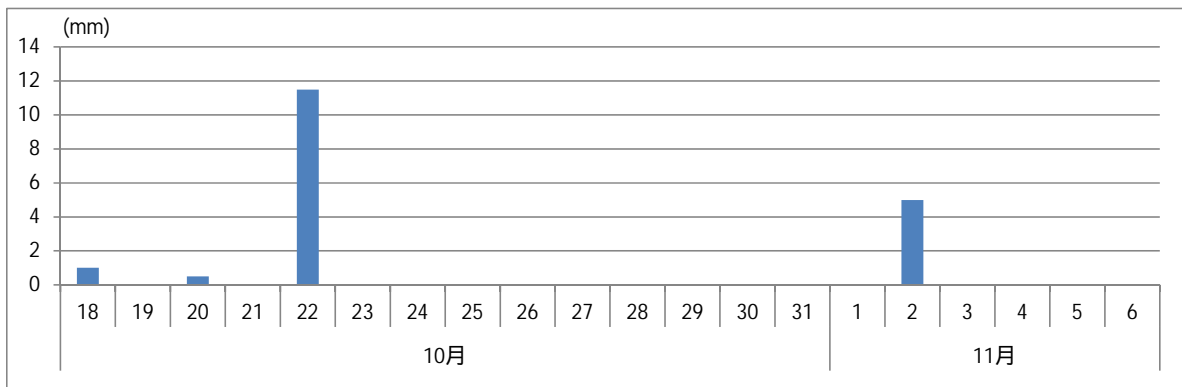


図 4.4-77 調査日前 20 日間の降雨状況(川平観測所)

(b) 流域内状況

陸域調査時の各種位置図を図 4.4-78 に示した。

また、次ページ以降、図内の地点位置の内容について、写真と共に詳細を述べた。

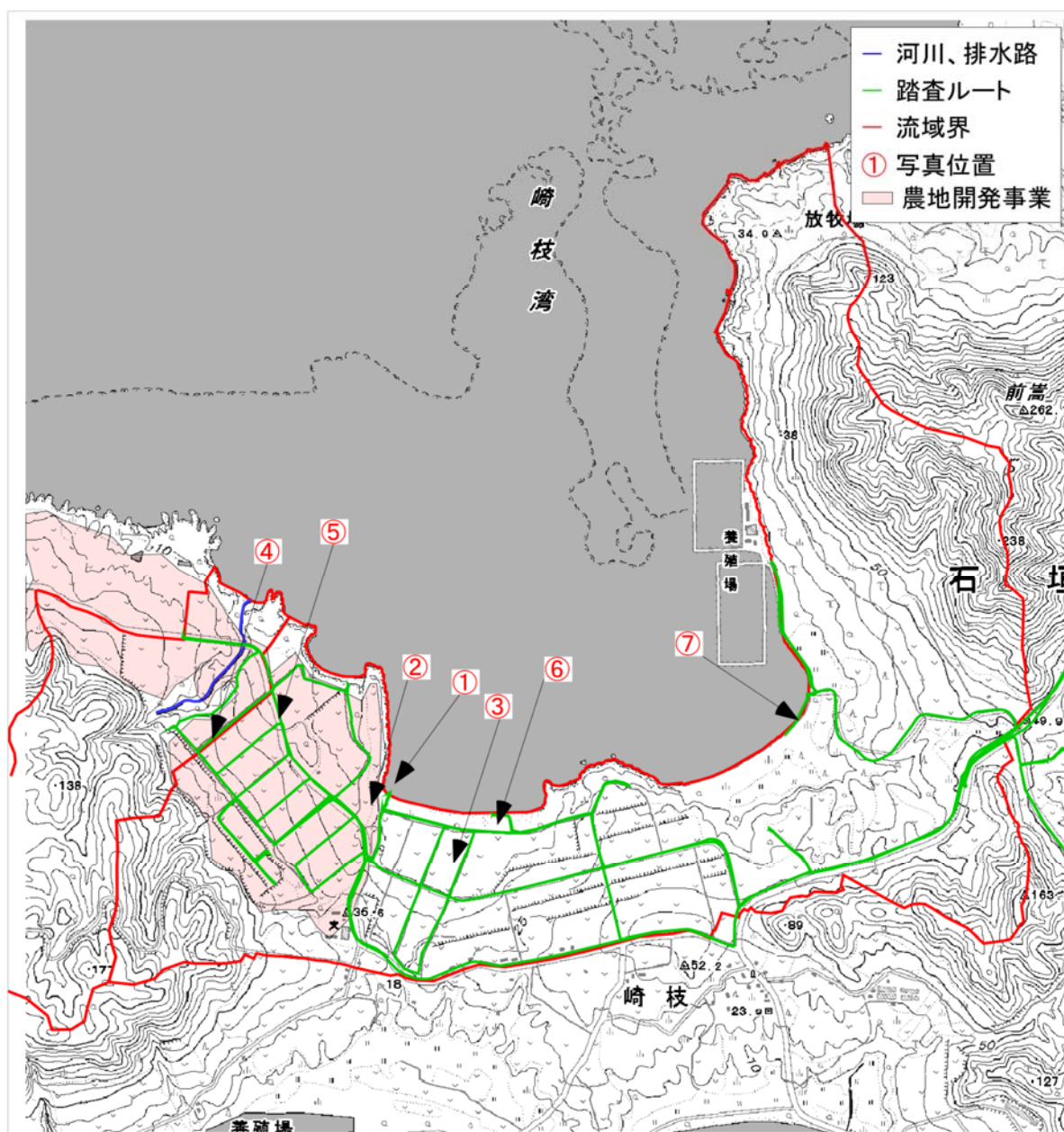


図 4.4-78 崎枝湾 陸域調査概要(1回目)

- ・河口部において濁りは確認されなかった(地点)。河口近くの貯水池において、濁りは確認されたが、貯水池外への流出は確認されなかった(地点)。



地点 河口域(濁り無し)



地点 貯水池 (濁り有り)

- ・新たな土砂採取工事が実施されていた。面積としては 30m × 30m 程度であり、赤土等流出防止条例にかかる看板も設置されていた(地点)。



地点 土砂採取工事



地点 土砂採取工事看板

- ・昨年度、大雨時に赤土等が著しく流出したサトウキビ畑においては、依然として流出可能性が高い状況であった。



地点 流出可能性が高い箇所



地点 昨年度第1回調査時状況(6月)

- ・ 水路末端の集水桝において、桝外への流出は確認されなかったが、泥分の著しい堆積が確認された(地点)。



地点 集水桝の状況



地点 昨年度第1回調査時の状況(6月)

- ・ 昨年度確認した流出水の水路末端のふとんかご(半壊)箇所では、今年度海域からの砂が熱く堆積しており、閉塞が起こっていた(地点)。



地点 海域近くのふとんかご



地点 ふとんかごから海域側(閉塞)



地点 昨年度の状況

- また、昨年度第 2 回調査時には、水を張られた状態の水田がいくつか見られ、濁水が流出していたが、今回、水を張っておらず流出する状況ではなかった(地点)。



地点 今回調査時の水田の状況



地点 昨年度第 2 回調査時の状況(2 月)

2) 第2回調査(平成27年2月27日実施)

(a) 降雨状況

調査日前20日間の降雨状況を図4.4-79に示した。調査日には9.5mmの雨が確認されたことから、雨天時の陸域調査として実施した。また、調査当日の毎時雨量を図4.4-80に示した。

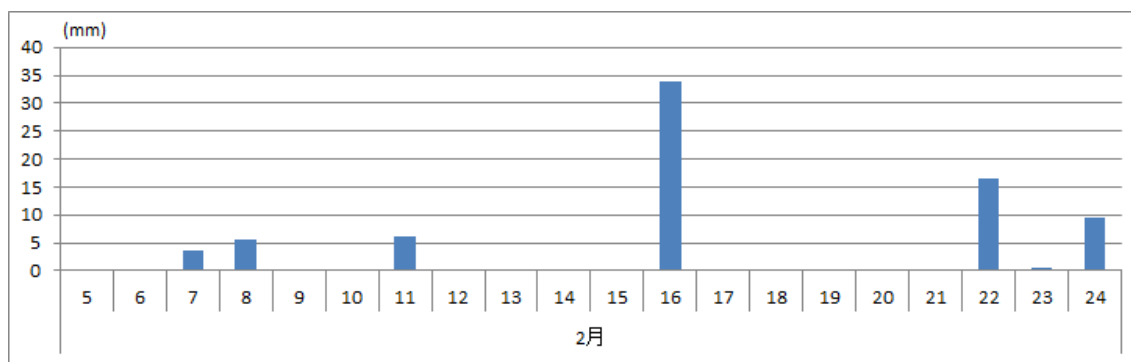


図 4.4-79 調査日前20日間の降雨状況(川平観測所)

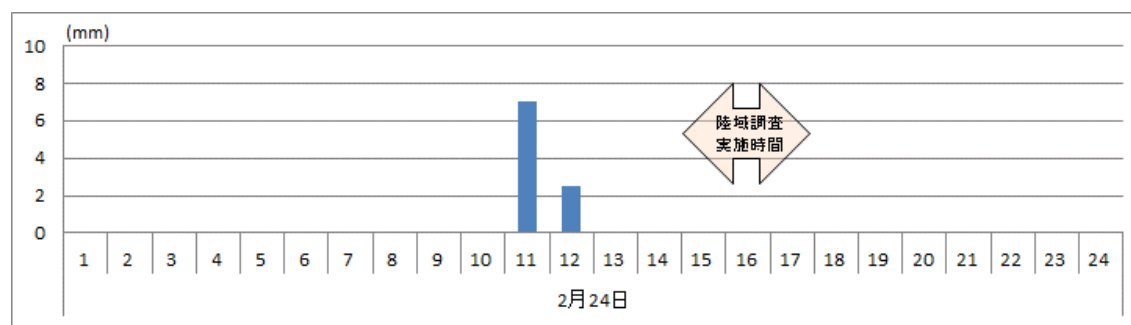


図 4.4-80 踏査当日の降雨状況(川平観測所)

(b) 流域内状況

陸域調査時の各種位置図を図 4.4-81 に示した。

また、次ページ以降、図内の地点位置の内容について、写真と共に詳細を述べた。

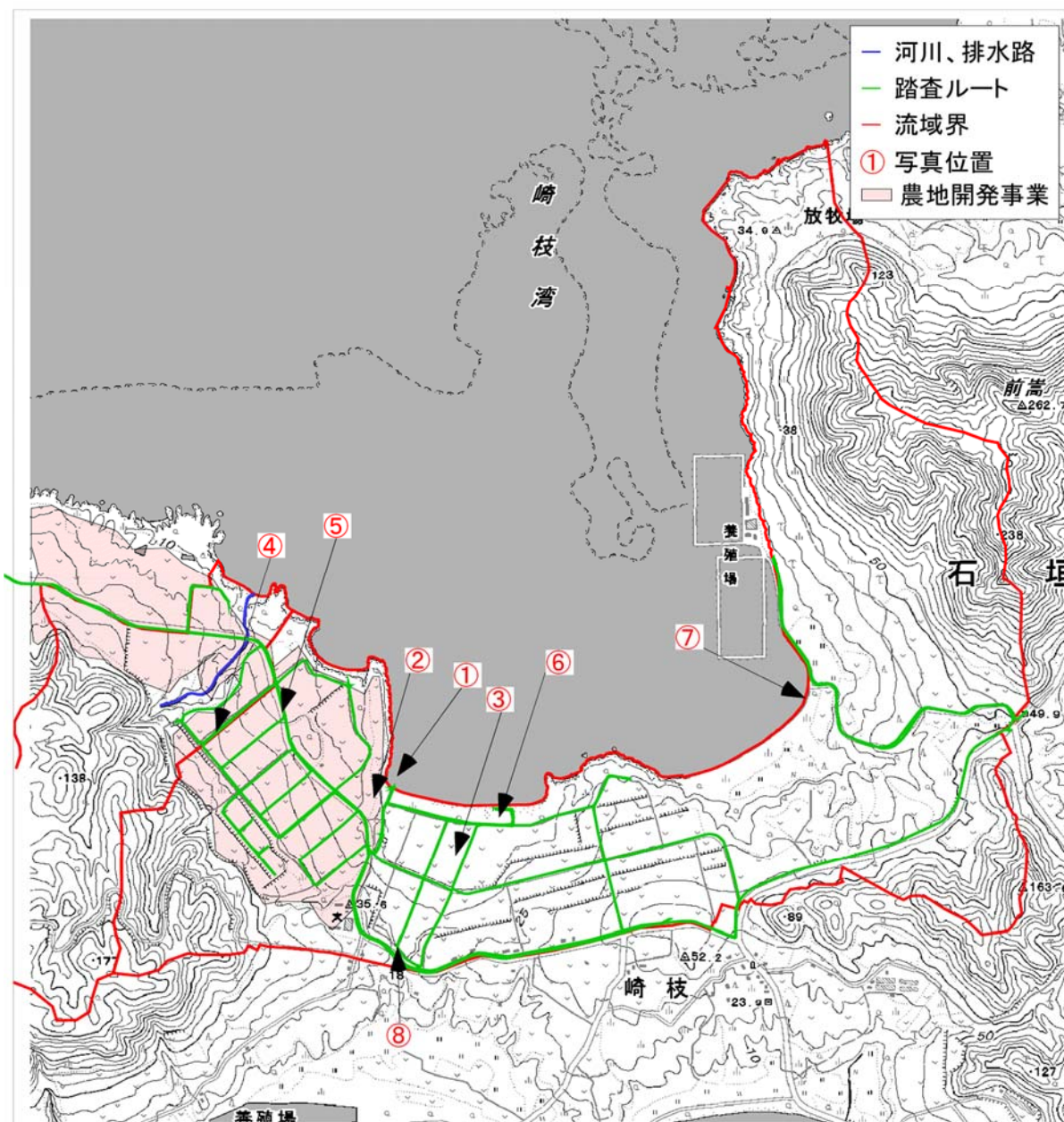


図 4.4-81 崎枝湾 陸域調査概要(2回目)

- ・ 河口部において、濁りは確認されなかった(地点)。河口近くの貯水池においては濁りが確認されたが、貯水池外への流出は確認されなかった(地点)。河口部では、10mm 程度の降雨では、河川への流出は少ないと考えられる。



地点 河口域(濁り無し)



地点 貯水池 (濁り有り)(第 1 回目地点)

- ・ 地点 においては、H26 年度第 1 回調査時に確認された土砂採取工事が終了し、裸地となっていた。赤土流出防止措置などは確認できず、赤土流出の可能性が考えられた。



地点 土砂採取工事後の裸地(第 1 回目地点◎)

- ・ 昨年度、大雨時に赤土等が著しく流出したサトウキビ畑においては、マルチングされた箇所やベチバーによるグリーンベルトを施される途中の状況が確認された。H26 年度 1 回目調査時に比べ、改善が見られており、赤土流出の可能性は減少したと考えられる。



地点 グリーンベルト設置途中(第 1 回目地点)



地点 マルチングされた箇所(第 1 回目地点)

- ・ H26 年度 1 回目調査時に確認された水路末端の集水桝において、桝外への流出は確認されなかったが、泥分の著しい堆積が確認された(地点)。



地点 集水桝の状況(第 1 回目地点)

- ・ 昨年度から確認されている流出水の水路末端のふとんかご(半壊)箇所では、昨年度や H26 年度 1 回目調査時同様今年度海域からの砂が熱く堆積しており、閉塞が起こっていた(地点)。



地点 海域近くのふとんかご(第 1 回目地点)



地点 ふとんかごから海域側(閉塞)

- ・ 昨年度調査時と同様に水を張られた状態の水田が見られた。
- ・ 地点 では、濁水が流出していた。
地点 では濁水の流出は確認されなかった。



地点 水田からの濁水流出状況(第1回目地点)



地点 濁水が流出しない水田の状況

(17) 名蔵湾

1) 第 1 回調査(平成 26 年 11 月 7 日実施)

(a) 降雨状況

調査日前 20 日間の降雨状況を図 4.4-82 に示した。調査日当日には降雨が確認されなかったことから、平常時の陸域調査として実施した。

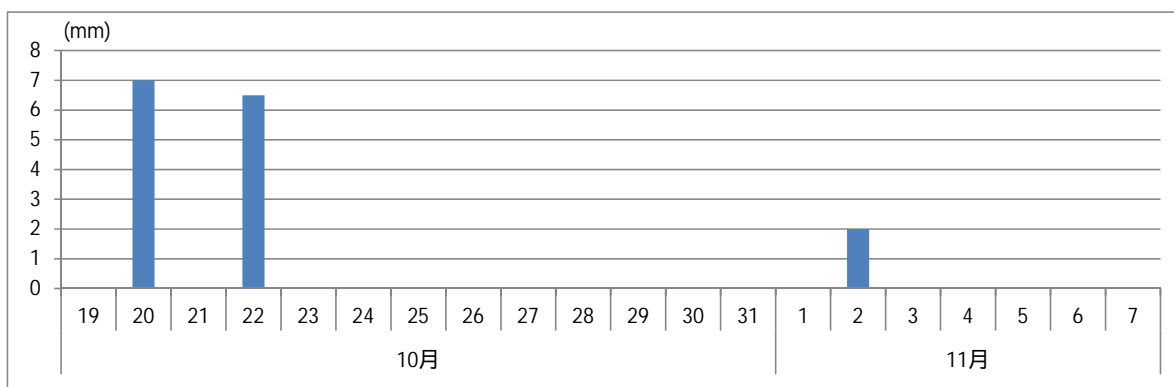


図 4.4-82 調査日前 20 日間の降雨状況(石垣島観測所)

(b) 流域内状況

陸域調査時の各種位置図を図 4.4-83 に示した。

また、次ページ以降、図内の地点位置の内容について、写真と共に詳細を述べた。

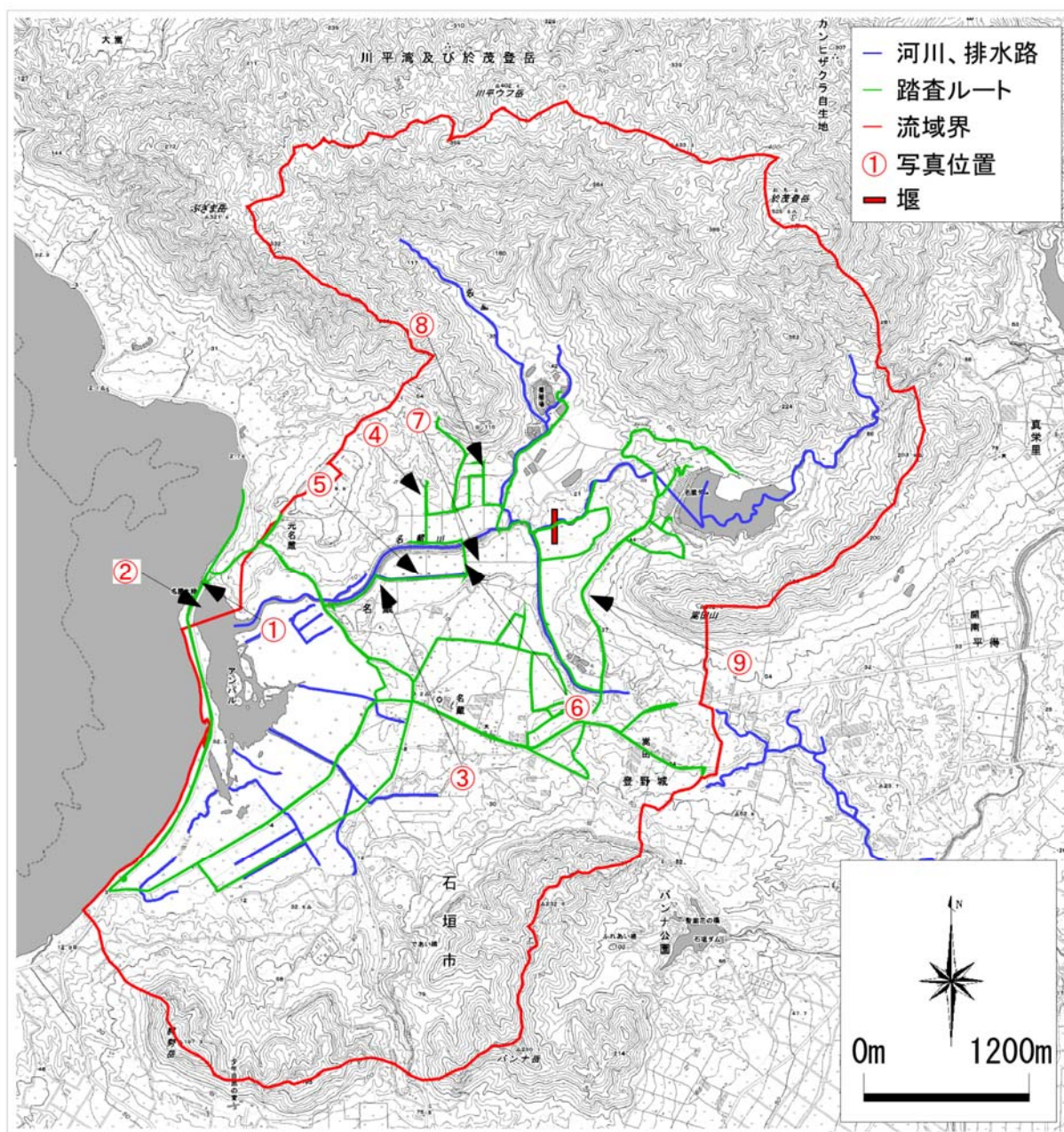


図 4.4-83 名蔵湾 陸域調査位置図 (1 回目)

- ・ 河口域および名蔵アンパルでは、濁りは確認されなかった(地点)。



地点 河口域(濁り無し)



地点 名蔵アンパル(濁り無し)

- ・ 昨年度第2回調査時に確認された造成裸地は、若干草本が生えている箇所もあったが、殆ど状況は変わっておらず、依然として流出源として懸念された(地点)。



地点 造成裸地



地点 昨年度第2回調査時の状況



地点 造成裸地



地点 昨年度第2回調査時の状況

- ・ 流域内では、河川整備工事が広い範囲で行なわれていた。法面を造成している最中の箇所もあり、流出が懸念された。ただし、河川内に泥分の堆積は確認されなかった(地点)。



地点 河川整備工事



地点 河川整備工事



地点 河川内の状況

- ・ 流域内で、広い範囲で造成が行なわれていた。大きさは約 50m×50m 程度であった。なお、看板等確認されず目的は不明であった(地点)。



地点 造成工事



地点 造成工事

- ・ その他、流域内の主にサトウキビ畑には、流出源となりうる箇所もいくつか複数確認された(地点)。



地点 流出源となりうる箇所



地点 流出源となりうる箇所